

第26回定時総会・理事会・を 6月21日(日)に開催

春風が心地よい季節となりました。

機械工学科同窓会会員の皆様には、益々ご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。本年は、2年ごとに開催しております機械工学同窓会総会の開催年にあたります。そこで、6月21日(日)に、第26回定時総会と理事会を右記の要領で開催いたします。大阪府立大学は2012年度の改組によって4学域13学類体制になり、順調に卒業生を送り出してきました。一方、新たな組織改革がなされており、2019年の法人統合により「公立大学法人大阪」の下に大阪府立大学と大阪市立大学、および、大阪府立大学工業高等専門学校が存在する組織になっています。さらに報道等で取り上げられていますように、2022年の本格的な大学統合に向けた準備がなされています。機械工学同窓会においても、大学統合後の組織と活動について検討を重ねていくことになります。

この機会に、出来るだけ多くの方々に大学を訪れていた
だいたく、ご案内する次第です。

開催日: 令和2年6月21日(日)

場所・時間:

1. 理事会: 学術交流会館(特別会議室)
13:00~14:00
2. 定時総会: 学術交流会館(多目的ホール)
14:30~15:30
3. 懇親会: 学術交流会館(サロン)
15:30~16:30

懇親会会費: 3,000円

会費は、当日懇親会でお支払いください。



2019年度の 機械工学分野／機械工学課程の状況報告

平成から令和へと新たな時代に入ったこの2019年度の機械工学分野、機械工学課程の状況をご報告申し上げます。機械工学は工学域の中では機械系学類 機械工学課程を、工学研究科の中では機械工学分野を構成しています。

学生について

学生の内訳は、

機械系学類入学生(1年生)142名

機械工学課程配属学生(2年生)71名(3年生)73名

編入学生(3年生)一般2名、福州大学留学生6名

卒業研究履修生(4年生)78名

博士前期課程1年生 70名

博士前期課程2年生 52名

博士後期課程在学学生 7名

となっております。機械系学類に入学してきた1年生は、卒業に必要な1年配当科目を30単位以上修得した学生の約半数が、機械工学課程に配属されることになります。

進路も、引き続き順調に決まりました。卒業研究履修生の約80%が博士前期課程に進学予定です。就職希望者はほぼ全員が内定式までに就職先を決めました。諸先輩方のご支援に感謝申し上げます。これからも引き続き温かいご支援のほどお願い申し上げます。

博士後期課程特別選抜学生の募集

現在機械工学分野では博士後期課程社会人特別選抜学生を募集しております。社会人として勤務を継続しながら、本課程に入学して、研究を実施し、その成果を博士論文としてまとめることによって、博士(工学)の学位を取得できます。機械工学分野には魅力のある研究を行っている教員が多数おります。個人で学費をお支払いの場合は特別研

究奨励金と呼ばれる授業料にいくらか相当する奨励金がもらえる制度もございます。皆様の状況に応じて年限短縮や、長期履修の制度も設けております。出願を検討される場合は分野の教員にお問い合わせください。

教員について

2019年度4月に石原正行先生が教授に、小笠原紀行先生が准教授に、片岡秀文先生が講師に昇任されました。石原先生には機械設計工学の分野、小笠原先生は流体工学の分野、片岡先生は動力工学の分野で引き続き活躍頂いています。その結果2019年度機械工学分野／機械工学課程では次ページの表に示されますように、4つの研究領域、12の研究グループからなっています。材料力学、熱力学、流体力学、機械力学などの基礎的な分野から、環境、エネルギー、植物工場といった応用的な分野まで幅広く教育・研究活動を行っております。教員構成としては教授11名、准教授8名、講師4名、助教3名、計26名となっております。助教のうち2名はテニュアトラック助教です。また、分野、課程の業務を支えていただくために機械事務室を設けており、3名の職員に我々の業務を支えていただいております。分野、課程にご興味のおありの方は機械工学のウェブページなどをご参照いただければ幸いです。

今後について

2022年度予定の大阪市立大学との統合についてですが、あまり決定されたことは少ないのですが、公立大学法人大阪府立大学と公立大学法人大阪市立大学が統合し、2019年4月1日より新法人「公立大学法人大阪」が発足いたしました。大阪市立大学の工学部にも機械工学科があり、何か連携できないかとお互い情報交換をしているところです。どのよ

うな形になるにせよ、よりよい教育、研究を進め、より良い学生を輩出するために尽力していくつもりでございます。

2019年度の行事について

今年度一年間の主なスケジュールは以下の通りです。

入学式、新入生・在学生オリエンテーション
(4月上旬)

出張講義(福州大学)(4月上旬)

一般編入学試験(6月上旬)

大学院入学試験・口述(7月下旬)

オープンキャンパス(8月上旬)

大学院入学試験(8月下旬)

福州大学編入学試験(8月下旬)

3年生工場見学(11月中旬)

博士前期課程1年生発表会(1月上旬)

大学院入学試験(第2次募集)(2月中旬)

修士論文・卒業研究発表会(2月下旬)

大学入学試験(3月上旬)

学位記授与式(3月下旬)

新型コロナウイルスのため、例年4月に行っている次年度の福州大学への出張講義がしばらく延期となりました。この会報が皆様のお手元に届く頃にはもう少し事態が落ち着いていることを望んでおります。

最後となりましたが、今後とも機械工学課程・機械工学分野へ相変わらぬご支援・ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。結びの言葉とさせていただきます。

2019年度主任 新谷 篤彦

2019年度機械工学分野／機械工学課程研究グループ別教員表

分野／課程名	領域名	研究グループ名	教授	准教授	講師	助教	
機械工学	機械基礎工学	材料力学	三村 耕司	榎田 努 陸 偉			
		機械設計工学	石原 正行				
		バイオ生産システム工学	福田 弘和				
	高機能機械システム	機械計測工学	菊田 久雄			水谷 彰夫	
		システム制御学				小林 友明	
		機械力学	新谷 篤彦	中川 智皓			
	熱流体・動力工学	伝熱工学	須賀 一彦	金田 昌之			桑田 祐丞
		動力工学	瀬川 大資			片岡 秀文	
		流体工学	高比良 裕之	小笠原 紀行	中嶋 智也		
	エネルギー・環境工学	エネルギーシステム工学	横山 良平	涌井 徹也			
		環境工学	吉田 篤正	木下 進一			安田 龍介
		環境保全学	大久保 雅章	黒木 智之			山崎 晴彦

【製造品目】 ●ステンレス(溶接管・条鋼・加工品) ●溶接鋼管(普通鋼) ●機械(パイプ切断機など)

MORY モリ工業株式会社

相談役(前社長) 森 明信 (府大 機械 昭29卒)

本 社 大阪市中央区難波5丁目1番60号 (なんばスカイオ22階)

電話(06)6635-0201(代表) <https://www.mory.co.jp/>

河内長野工場 河内長野市楠町東 1615 番地(南海高野線 千代田駅前)

電話(0721)54-1121(代表)

機械工学科同窓会 2019年度理事会

令和元年6月15日(土)の13:00より、大阪府立大学学術交流会館特別会議室において2019年度理事会を開催した。出席者は16名、委任状提出者は14名であった。開会にあたり吉永洋一会長より挨拶があり、会員・理事の日頃の同窓会への協力に対する感謝の意が述べられた。その後、下記に議題の審議が行われた。

報告事項

1. 会報第39号発行について
会計担当理事より、4,200部を印刷し、うち3,679部を郵送送付したことが報告された。
2. 新入会員歓迎パーティー開催、学業優秀賞の副賞贈呈(2019.3.24)について
大学院学業優秀賞2名、自動車技術会1名への副賞贈呈があったことが報告された。なお、工学部同窓会の解散により2019年度から大学院学業優秀賞に対する副賞がなくなる予定であり、この分を機械工学科同窓会から用意することについて同窓会事務局に一任することが了承された。
3. 大阪府立大学校友会評議委員会報告について
専務理事より平成30年度第1・2回の校友会評議委員会報告があった。
4. 大学院生の海外渡航支援費支援について
専務理事より1件の支援を行ったことの報告があった。
5. 第7回情報交流サロン会について
担当委理事よりサロン会を2018年11月24日、I-siteナンバにおいて出席者13名のもと無事に開催されたことの報告があった。
6. ロボコンクラブに対する援助について
専務理事より、支援金の申し出が会計年度を超えてからなされたため2018年度の活動支援金を支給しなかったことが報告された。
7. 2019年度ホームカミングデーの開催について
2019年11月3日(日)12時から中百舌鳥キャンパス体育館にて開催予定。

協議事項

1. 2018年度決算報告・監査報告について
会計理事による決算報告の後、監事による会計監査報告がなされ、2018年度の会計決算が承認された。
 2. 理事の交替・新任について
専務理事より理事の新任・退任・交代が提案され、了承された。専務理事は大多尾義弘理事から石原正行理事に交代。
 3. 第8回情報交流サロン会について
会長より意見徴収がなされ、同会を継続することが承認された。
 4. 校友会との名簿共有について
会員情報を正確に維持することは同窓会/校友会の双方にとって有益なので、双方の名簿の更新情報を適時に交換することが了承された。
 5. 財務推移について
専務理事より財務推移、および、財務健全化のための当面の対応について説明があり了承された。
- 理事会終了後、懇親会が開催され、盛会裏に終了した。

専務理事 菊田久雄、石原正行

新入会員歓迎パーティーと 成績優秀者表彰

平成31年3月24日(土)の午後、工学域・工学研究科の平成30年度学位記授与式が行われ、引き続き午後4時より、恒例の機械工学科同窓会新入会員歓迎パーティーがB4棟で開催された。

同窓会からは、吉永洋一会長(工機13-S40)にご出席を賜り、専務理事菊田久雄教授の司会進行のもとで、ご退職の大多尾義弘教授の乾杯ご発声を皮切りに、盛況の内に歓迎パーティーが開催された。

また、パーティーに先立って、平成30年度の学域・大学院成績優秀者の表彰および副賞の記念品贈呈が榎田努准教授の司会により執り行われた。機械工学科同窓会からは、大学院学業優秀賞受賞者1名と自動車技術会大学院研究奨励賞受賞者1名に副賞の記念品を贈呈した。

受賞者は以下のとおりであり、受賞された諸君の日頃の精進と努力をたたえる。

- 日本機械学会三浦賞(大学院)
機械工学分野:堀場 大生君、植西 宣仁君
- 大学院学業優秀賞(副賞:機械工学科同窓会)
機械工学分野:岡崎 友紀君、西山 悠大君、前田 光毅君
- 自動車技術会大学院研究奨励賞(副賞:機械工学科同窓会)
機械工学分野:堀場 大生君
- 白鷺賞(学域)
機械工学課程:吉田 拓真君
- 日本機械学会畠山賞(学域)
機械工学課程:水口 雄太君

(専務理事 石原正行)



就職・進学等の進路状況について

機械工学分野就職担当 教授 大久保 雅章

2019年度は第5回目の学域生卒業の年となりました。今年度は、表1のように課程学生の卒業予定者の83%が大学院に進学し、12名の学生が企業への就職に内定しました。また博士前期課程の大学院生については、50名が企業へ、2名が公務員・教員へ就職を内定し、内1名が就職と並行して博士後期課程に進学することになりました。

今年度は経団連主導のルールが適用される最後の年となりましたが、採用・就職活動のスケジュールは昨年度から変更ありませんでしたので、学生側だけでなく企業側にとっても勝手がわかっていることもあり、混乱なく進んだように感じております。ただ、企業求人の正式な広報活動開始は昨年同様3月開始で、採用選考活動の開始は6月からとなっていたにもかかわらず、多くの企業において、年初から説明会やインターンシップを設け、さらにマッチング等の名目で、3月早々から事前選考が行われていたようです。したがって、4月から5月に早々と進路を決める学生が多くあり、6月以降の採用選考は形式的なものとなってきています。ただし、しっかりと経団連のルールを守られている企業もあります。

内定率について見ますと、学校推薦を受けた学生の内定率は上昇傾向にあり、今年度は直近10年で最も高い内定率を収めることが出来ました。また、本年度の就職者数全体に対する自由応募での内定者率は約36%で、昨年度の32%より少し多くはなりましたが、ひきつづき学校推薦での就職がメインである感があります。

学生の就職先に関しては、表3のように例年と大きな差はなかったと思われませんが、インターンシップや企業説明会に積極的に参加し、熱心に企業研究を行い、また、希望先を早めに絞り込んで活動している学生が有利であったという印象を持っております。来年度、就職・求人活動する際の参考にしていただければと思います。

最後になりましたが、就職業務にご協力いただきました機械工学分野の教職員の皆様方はじめ関係の方々には、大変お世話になりました。この場をお借りして、深く感謝御礼申し上げます。

表1. 2019年度卒業予定者・修了予定者の進路とりまとめ(2020年1月現在)

●学域学生

	在籍者	卒業 予定者	就 職			進 学			その他	未 定
			企業	公務員・教員	計	本学	他大学	計		
機械工学課程	78	77	12	0	12	55	9	64	1	1

●大学院学生(博士前期課程)

	在籍者	修了 予定者	就 職			進学	研究生	その他	未 定
			企業	公務員・教員	計				
機械工学分野	52	52	50	2	52	1	0	0	0

*内1名は就職と並行して本学博士後期課程に進学予定

表2.2019年度卒業予定者・修了予定者(2020年1月現在)

I. 卒業予定者〔機械工学課程〕

石田 将真	出井 亮也	糸井 愛絵	伊東 凌	大城 怜南	大平 真由	岡崎 真梨	岡田 真吾
岡田 健嗣	岡田 佳久	小川 博己	香河 悠也	梶原 隼人	兼重 岳史	歌門 林蔵	川崎 宏樹
木原 裕貴	隈川 頭	黒崎 滋	國分 悠輔	国分寺 諒	古結 慶幸	後藤 一輝	坂本 真蒼
桜井 航	佐藤 貴一	佐藤ななみ	設楽 朗大	杉本 春紀	鈴木 三平	鈴木 裕人	高瀬 夢人
竹森 聖真	田中 繪	谷上 慧	田村 知也	津賀 允徳	徳丸 貴文	中出 崇彦	永井 賢人
長野 周平	長濱 瑠星	名倉 梨花	西岡 涼介	西永 拓夢	西森 皓平	八田 雅大	林 大輝
平形 亘	平松 祐人	福田 悠太	藤井 燦	前田 康介	益山 琢夢	宮崎 寛隆	森本 賢
山内 詠人	山中 春輝	山本 草太	吉田 圭佑	渡辺 匡	井上 貴弘	奚 訓	朱 強峰
瀬川 紘生	彭 楚微	上田俊太郎	神農 直斗	河合 晃汰	澤田慎太郎	高田 倫	高橋 光生
田尻 雷蔵	西端 文晨	古川 諒太	松本 拓治	川崎 裕也			

II. 博士前期課程修了予定者〔機械系専攻機械工学分野〕

赤井 和輝	安積加奈子	安藤駿之介	今井 峻太	植杉 裕平	上田 景太	麻植 祐輝	大路 秀太
太田 雅人	岡 和磨	岡 遼磨	小野 慎司	片芝 一	門田 直己	金子 夏輝	蒲ヶ原光太郎
鎌田 拓希	神原 里佳	貴志 拓希	熊澤 祐哉	合田 昌平	笹山 拓也	澤田 知希	澤田 祐太
三妙 彬斗	清水 歩実	清水 裕也	須佐 有起	高岡 柊平	竹内孝太郎	建部 紘己	田中 大揮
田中 冬也	谷口 侑也	田端 信哉	中 拓真	中正司 脩	中村 学	名里 健佑	野村 駿斗
橋口 萌	長谷川敬祐	比嘉 竜也	廣畑 翔太	堀口 陽平	前田 昂輝	前田 祐輔	前原 脩人
宮本 康平	山口 達也	横山 正史	米田 充輝				

III. 博士後期課程修了予定者〔機械系専攻機械工学分野〕

長野 将吾	2020/3/31博士(工学)の学位取得予定
森内 浩史	2020/3/31博士(工学)の学位取得予定

表3.2019年度卒業予定者・修了予定者進路(2020年1月現在)

●内定先

(株)IHインフラシステム	(株)イシダ	いちから(株)	(株)インターワークス	大阪市高速電気軌道(株)	川崎重工業(株)
京セラ(株)	(株)クボタ	神戸市役所	(株)神戸製鋼所	(株)小林労務	(株)小松製作所
堺市役所	(株)ジェイテクト	(株)シグマックス	(株)島津製作所	(株)シマノ	新明和工業(株)
(株)SCREENホールディングス	住友電装(株)	積水化学工業(株)	ダイキン工業(株)	(株)ダイフク	(株)竹中工務店
(株)椿本チエイン	(株)デンソー	東京電力フェニックス(株)	トヨタ自動車(株)	(株)豊田自動織機	中西金属工業(株)
中日本高速道路(株)	ナブテスコ(株)	(株)ニコン	パナソニック(株)	バンドー化学(株)	(株)マキタ
マツダ(株)	ミカサ商事(株)	三菱重工業(株)	三菱電機(株)	三菱ロジスネクスト(株)	(株)村田製作所
(株)UACJ	ローム(株)	太龙照明会社			

●進学先

本学大学院	京都大学大学院	東京工業大学大学院	東京大学大学院	奈良先端科学技術大学院大学	イギリス パース大学
-------	---------	-----------	---------	---------------	------------

ギア クラス会 短信

工機8期(昭和35年卒)同期会

昨年は2回開催しました。

1 令和元年6月24日新谷君が来阪する連絡があり梅田の土佐料理司で開催した。出席者は、7名。

2 韓国から趙薫が来日する10月3日に、梅田マルビルで開催した。前年の済州島旅行で、趙夫妻にお世話になり、夫人を招き和やかで充実した3時間の懇親会であった。その後喫茶店で話をする楽しい一時でした。出席者は10名。本年度も懇親会を開催しますので、皆さんの出席頂きた

いです。要望があれば、幹事まで連絡ください。

(太田廣 記)



田中・甲斐・趙(妻)・網島・伊藤・須山・趙(夫)・太田・今村

機械工学科昭和36年度卒業生同窓会

令和元年10月10日標記の同窓会を実施いたしました。

機械工学科は在籍時A組B組から成っており、全員で62名でした。

A組は40名、B組は20名余で航空工学科20名と同居しておりました。

このうち出席していただけたのは13名でした。殆どはA組ばかりです。やはり顔なじみがないと出席し辛いのかなとの印象を受けました。

この会の始まりは約8年前にさかのぼります。1年交代で幹事を選出し開催をしております。名簿も徐々に整備され62名の氏名、住所、メールアドレス、固定・携帯電話番号、個人のコメント欄等が年々改正されてきました。

欠席の方は、最近病院を退院したばかりだから遠方に行く元気がない等の他、所在不明の方等を合わせますと32名と多く見られます。それでも良い方で既に鬼籍に入られた方も17名と年々増加の傾向にあります。

宴会はあべのハルカス内の花外楼という店で開きました。開会一番府立大学の学生歌を斉唱し次いで物故者に黙とうをささげました。次に皆さんの近況の報告をいただきました。夫々の生活環境で培った感想を聞かせてもらい大いに座は盛り上がりました。宴会終了後次回幹事と開催日時を決めて散会しました。

次回幹事は中田紀夫君、開会は令和2年10月17日(土曜日)です。

2次会としてあべのハルカス探検ツアーに参加し、ビル内の自慢の設備を見て回りました。最後



は60階300mで解散になりました。

大阪府では近日中に市立大と合併するとの方針が打ち出されています。新しい大学がどういふ風になるのか大層楽しみです。大学も大きくなって効率化し社会に貢献できる機構にならなけれ

ばなりません。それが時代の流れでしょう。我々は既に傘寿を過ぎておりますのでいつ何があってもおかしくはない年になっています。それでもできるだけ長くこの会が存続できることを祈っています。(出席同窓会一同と幹事上田正雄)

工機13期同期会

2020年1月17日、京都花見小路の祇園迦陵で開催した。参加者は赤井・梁根・入山・斎藤・佐藤・中尾・西森・林・東田・増田・吉永・伊東(以下敬称略)の12名で、入山・林が幹事を務めてくれた。過去舞妓さんをお茶屋遊びを楽しんできたが、今年から趣向を変えて皆と会話を十分楽しむ会と変更した。今後も同好会として、桜とお酒、奈良歴史探訪、大阪大衆芸能、古都再探訪等の各種会合を計画している。同期各位

の積極的なご参加をお待ちしています。

(伊東 記)



工機14期 第16回同期会(母校の地大阪で海遊館と岸和田のだんじり祭り見学)

我々の同期会は、卒年は昭和41年なので卒業後今年で53年を迎えるが今回で16回目となる。

この寄稿文を書くに際して、手持ちの「機械工学科同窓会 会報」(32号～39号)のクラス会短信を他の期の記事も含めざっと読み返してみた。判ったことは同期会を70回以上も続けてこられた先輩方がいた。そして残念なことではあるが、寄稿する件数(期数)が漸減していることです。(32号では12件、最新の39号では5件でした。)理由のひとつに高齢化で継続が難しいことから同期会を解散する期が出てきたことである。

我々の期は毎年実施しているが、会報に載せてない号もあるので、寄稿してないだけで同窓会は開催されている期も多いのではないかと推測します。前置きが長く成りますが、前述のように卒業50年を越えているのに今回で16回目となるのは、同期会発足の契機となったのが(会報39号に「谷川義信先生を偲んで」のその本人が同

期生の)谷川君の発起で平成14年第1回を大学の彼の研究室で開催したのが始まりである。基本的には一泊二日で観光(一部のものはゴルフ)と宿泊懇親で今回もこのスタイル踏襲で計画したが、ゴルフ常連者の一人が不参加となったこと、今回の観光の目玉である「岸和田だんじり祭」は是非見たいとのとのことで、ゴルフ組はなく、全員で観光となった。

9月13日12時50分地下鉄中央線の大阪港駅改札口に集合して、徒歩10分程に位置する「海遊館」をシニア資格割引で入場し、先ずは一巡見学しその後ガイド付きで同施設のバックヤードを見学した。じんべいぎめのエサやりを見学し、イルカと鯨は同類ではあるが、大きさで区分している等の知見を得た。2時間ほどの見学後地下鉄中央線で生駒山麓の石切のホテルに移動、海遊館を見学しなかった3名と合流して総勢12名(予定では13名だったが、体調不良で1名欠)

が揃った。早速大浴場へ、そして夕食宴会を待ちきれず、幹事持ち込みの缶ビールで再会を祝し先ずは乾杯。宴会は6時30～で、最初に今年他界された市田君の冥福を祈り各自で黙祷。その後今回初参加の青柳君(埼玉県在住)の挨拶から始まり懇親の場の宴が盛り上がったところで、各自から近況報告等を披露してもらい、最後は全員での記念写真を撮って、幹事部屋での二次会へと移行した。そこでも種々の話題で盛り上がった。そこで新たに決まったことは会員情報を一元的に把握できる体制にする目的で、谷川名誉幹事が担っていた役目を果たしてもらう常任幹事を田島君にやってもらうことになった。二日目はチェックアウトを8時として、難波経由で岸和田に向かった。岸和田地元人でまつりを知り尽くす(今回幹事の田坂君の知人の)渡辺ご夫妻のナビゲートのもと、身近でだんじり(山車)行列と

方向転換モーションを堪能した。岸和田城も見学、難波に移動して予約していたレストランで遅めの昼食を摂り、来年の再会を約束して解散した。尚この場では数名が欠席となった。今回幹事を陰で支えてくれた北野君に感謝します。来年の幹事は宮崎君、足立君、天見君となります。今回参加できなかった同期各位の参加を期待します。(文責 梶田)



工機27期(昭和54年卒)同期会

平成最後の同期会を平成31年4月5日～6日一泊2日で河内長野荘にて開催しました。一昨年に卒業後初めての同期会を還暦同期会として開催してから、2回目となります。今回の参加者は、前回から1名増え9名でした。

参加者は皆元気で、今回初参加でアメリカ帰りの石田氏のアメリカ滞在中の話の皮切りに、現在の仕事内容や健康状態などについて夜遅くまで飲みながら盛り上がりました。

翌日は懐かしの大阪府大へ行き、満開の桜を眺めながら構内を散策しました。新しい建物が増え、機械工学科の名前も変更されているため、機械工学科が現在どの建物に入っているのか良く分かりませんでした。府大が近代的な変身を遂げたように感じました。また、昔よく食べていた府大ランチを食べようと食堂に行きましたが、残念ながら土曜日のためか休みで夢かなわ

ずでした。そのあと、皆で中百舌鳥駅まで歩いて帰りましたが、その途中も昔の面影はなく、全く異なった風景となっていました。大学を卒業して丁度40年、年を取ったものだなあと改めて感じさせられた瞬間でした。(古結丈司 記)



(後列) 徳岡敦、田村誠司、坂本伸一、藤尾一茂
(前列) 古結丈司、藤井薫、駒澤寿雄、石田純一、中澤哲

年 月 日 事 項

- 令和1年6月15日 機械工学科同窓会理事会
- 令和1年6月22日 大阪府立大学校友会理事会・評議委員会
- 令和1年11月3日 大阪府立大学ホームカミングデー2019
- 令和1年11月3日 第7回情報交流サロン会
- 令和1年12月1日 大阪府立大学校友会理事会・評議委員会
- 令和2年3月24日 会報40号発行(学位授与式)



各期理事の選出についてのお願い(重要)

機械工学科同窓会では、会員各位の卒業期ごとに1名の理事を選出していただき、この理事によって組織される理事会で同窓会の運営を行っております。しかしながら、年月を経ることによって、理事を欠いたままの期が多数あり、現在、専務理事がその期の代理を務めています。本会報14ページの2019年度役員名簿の氏名欄に「専務理事に委任」と記載されている期がこれに該当します。ご高齢により理事を担当することが難しいために専務理事に委任されている期もありますが、多くは理事の移転による連絡先不明、または理事退任のあと後任が選出されないままの状態によるものです。

期の理事を欠いたままでは、理事会等で会員皆様の意見を正しく反映させることが困難です。そこで、理事が不在の期の会員各位におかれましては、できるだけ新たな理事を選出の上、同窓会事務局までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。



特許・意匠・商標の出願・審判・訴訟・PCT出願

中谷特許事務所

弁理士 中谷 武嗣 (昭和42年卒)

〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ6F

電話 大阪 (06) 6344-0177 FAX. (06) 6348-0927

URL <http://www.nakatani-pat.com>

叙勲・受賞ニュース

- ◆大和 史明
2018年3月
日本機械学会関西学生会支部長賞
- ◆田中 冬也
2019年3月
2018年度日本機械学会関西支部賞奨励賞
- ◆水野 日向
2018年3月
日本機械学会関西学生会支部長賞
- ◆岩川 拓未
2019年3月
2018年度日本機械学会関西支部賞奨励賞
- ◆桑田 祐丞
2019年3月
2018年度日本機械学会奨励賞(研究)
- ◆岡崎 友紀
2019年3月
日本機械学会関西支部第94期定時総会講演会
若手優秀講演フェロー賞
- ◆小林 慶太
2019年3月
日本機械学会2018年度関西学生会学生会員
卒業研究発表講演会Best Presentation Award
- ◆灰塚 興
2019年3月
日本機械学会関西支部第94期定時総会講演会
若手優秀講演フェロー賞
- ◆藤原 一樹
2019年3月
日本機械学会2018年度関西学生会学生会員
卒業研究発表講演会Best Presentation Award
- ◆中正 司 脩
2019年8月
日本混相流学会ベストプレゼンテーションアワード
- ◆岡村 洋明
2019年3月
日本機械学会2018年度関西学生会学生会員
卒業研究発表講演会Best Presentation Award
- ◆小笠原 紀行, 高比良 裕之
2019年8月
2018年度日本混相流学会賞論文賞
- ◆長村 篤
2019年3月
日本機械学会2018年度関西学生会学生会員
卒業研究発表講演会Best Presentation Award
受賞
- ◆福田 弘和
2019年9月
日本生物環境工学会特別研究功績賞
(生物環境調節学)
日本生物環境工学会植物工場普及特別功績賞
- ◆宮長 大輔
2019年3月
2018年度日本機械学会関西支部賞奨励賞
- ◆天田 智之
2019年3月
2018年度日本機械学会関西支部賞奨励賞



2018年度 決算報告書 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

■収入の部	単位:円	■支出の部	単位:円
1.前年度繰越金	21,902,762	1.会費	15,790
2.会費収入	796,000	年会費二重払い	0
年会費 小計	188件 376,000	終身会費二重払い	0
今年度	120件 240,000	振込手数料	15,790
新入会員	59件 118,000	その他(会費返金含む)	0
その他年度	9件 18,000	2.運営費	460,933
終身会費 小計	14件 420,000	人件費	56,160
一般	10件 300,000	旅費・交通費	0
新入会員	4件 120,000	通信費	7,200
会費超過分など	0件 0	印刷・事務用品費	0
3.会報収入	0件 0	会議費	0
広告料	0件 0	Web名簿製作・運営費、業務委託費	397,573
雑収入	0件 0	3.会報発行費	930,432
4.参加費収入	15件 45,000	編集印刷費	635,680
総会懇親会	15件 45,000	発送費	294,320
その他	0件 0	雑費	432
5.利息収入	1,782	4.事業費	458,742
定期預金	1,778	理事会・懇親会諸費	126,852
普通預金	4	新入会員歓迎会諸費	195,776
6.雑収入	7件 773,110	理事交通費	38,000
その他(工学同窓会解散金)	1件 506,110	特別事業費	0
校友会支援金	1件 233,000	その他(ロボコン支援)	0
寄付(振込)	5件 34,000	その他(情報交流サロン講演料)	58,000
		その他(海外渡航費補助)	40,114
		5.雑支出	0
		慶弔費	0
		その他	0
		6.次年度繰越金	21,652,757
収入項目2～6の合計	1,615,892	支出項目1～5の合計	1,865,897
収入の部総計	23,518,654	支出の部総計	23,518,654

資 産 目 録 (2019年3月31日現在)

項 目	本年度	前年度
近畿大阪銀行普通	¥66,227	¥66,127
三井住友銀行普通	¥73,445	¥72,598
三菱UFJ銀行普通	¥6,867	¥6,020
郵便局	¥388,334	¥548,291
振込口座(会費)	0	0
振込口座(会報)	0	0
近畿大阪銀行定期	¥1,043,550	¥1,043,466
三井住友銀行定期	¥10,000,000	¥10,000,000
三菱UFJ銀行定期	¥10,000,000	¥10,000,000
現金	¥74,334	¥166,260
合 計	¥21,652,757	¥21,902,762

2018年度 会計監査報告

会計帳簿、証憑書類ならびに通帳を監査した結果、適正に執行されていたことを認めます。

2019年6月1日

会計監査 西川 嘉康 蒲生 恵司

機械工学科同窓会 2019年度役員名簿

期 - 卒業年	役職	氏名	期 - 卒業年	役職	氏名	期 - 卒業年	役職	氏名
大機1-S16		※委任	機機3-S24		※委任	工機32-S59		石川 猶也
大機2-S17		※委任	機機4-S25		※委任	工機33-S60		有蘭 祥一
大機3-S18		※委任	機機5-S26		矢木原邦雄	工機34-S61		吉田 浩治
大機4-S19	常務	塩田 治雄	機原1-S22	常務	岡崎 忠	工機35-S62		田頭浩一郎
大機Ⅱ4-S20		※委任	機原2-S23		※委任	工機36-S63		山本 敏之
大機5-S20		※委任	機原3-S24		※委任	工機37-H1		河村 隆介
大機Ⅱ5-S21		※委任	機原4-S25		大野 虎夫	工機38-H2		木村 哲也
大機6-S22		※委任	機原5-S26		※委任	工機38-H2		吉満 信彦
大機Ⅱ6-S22		※委任	機精4-S25		※委任	工機39-H3	監事	蒲生 恵司
大機7-S23		細野 正守	機精5-S26		香川 恭介	工機40-H4		佐藤亜理州
大機Ⅱ7-S23		粕井 寛	工機1-S28		有田 幹雄	工機41-H5		小林 靖弘
大機8-S24		※委任	工機2-S29	名譽会長	青木 正昭	工機42-H6	専務	石原 正行
大機9-S25		我谷 康之	工機3-S30		大野 茂夫	工機42-H6		谷口 富洋
大機10-S26		※委任	工機4-S31		※委任	工機43-H7		松井 和昭
大精1-S16		※委任	工機5-S32		中山 幸三	工機44-H8		馬場 正信
大精2-S17		※委任	工機6-S33		※委任	工機45-H9	会計	水谷 彰夫
大精3-S18	顧問	藤原 啓	工機7-S34	名譽会長	橋 覚雄	工機45-H9		田中 清広
大精4-S19		※委任	工機8-S35	会計	太田 廣	工機46-H10	庶務名簿	黒木 智之
大精5-S20		※委任	工機9-S36		谷川十三夫	工機46-H10		中村 泰浩
大精6-S22		※委任	工機10-S37		豊田 正喜	工機47-H11		藤田 久士
大精7-S23		※委任	工機11-S38	名譽会長	明石 博	工機48-H12		森数 洋司
大精8-S24		※委任	工機12-S39	名譽会長	藤田 勝久	工機49-H13		西海 博行
大精9-S25		※委任	工機12-S39	常務	北出 篤夫	工機50-H14		船越 裕二
大精10-S26		※委任	工機13-S40	常務	赤井 富一	工機51-H15		牧野 允人
大原1-S16		※委任	工機13-S40	会長	吉永 洋一	工機52-H16		藤枝 英樹
大原2-S17		※委任	工機14-S41		東野 耿二	工機53-H17		内田 陽介
大原3-S18		※委任	工機15-S42		井上 久弘	工機54-H18		田村 雄一
大原4-S19		※委任	工機16-S43		石川 皓一	工機55-H19		佐野 浩司
大原5-S20		※委任	工機17-S44		中馬 義孝	工機56-H20		松村 玲
大原6-S22		※委任	工機18-S45		坂田 克郎	工機57-H21		黒田 裕之
大原7-S23		※委任	工機18-S45	名譽会長/専務	西川 嘉康	工機58-H22		野田 友彬
大原8-S24		高木 規雄	工機19-S46		杉元 民夫	工機59-H23		荒金 恵美
大原9-S25		※委任	工機19-S46	副会長	水谷 茂	工機60-H24		中村 大輔
大原10-S26		柴沼 元	工機20-S47	常務	政友 公平	工機61-H25		吉田 昂太
大舶6-S22		※委任	工機21-S48		脇谷 俊一	工機62-H26		光永 聖
大舶7-S23		※委任	工機22-S49		伊藤誠太良	工機63-H27		小田宗治郎
大舶8-S24		※委任	工機23-S50		綾野 良孝	工機64-H28		津山 拓也
大舶9-S25		田中 整	工機24-S51		樋口 豊涌	工機65-H29		平野晋太郎
淀機1-S22		安藤 久	工機25-S52		大多尾義弘	工機66-H30		未定
淀機2-S23		※委任	工機26-S53		河下 一成	工機67-H31		未定
淀機3-S24		玉尾 匡	工機27-S54		石田 純一	大学院-S34		※委任
淀機4-S25		※委任	工機28-S55	常務	武田 郁夫	大学院-S44		嶋橋 安廣
淀機5-S26		※委任	工機29-S56		上野 登	大学院-S56		石田 良平
機機1-S22	常務	村山 乾一	工機30-S57	専務	菊田 久雄			
機機2-S23		※委任	工機31-S58		上田 隆美			

機械工学科同窓会 会則

第一章 総 則

(名称)

第1条 本会は「大阪府立大学工学部機械工学科同窓会」と称する。

(目的) 本会は会員相互の親睦をはかり工業技術の発展に寄与することを目的とする。

(事業) 本会はその目的達成のため次の事業を行う。

- 第3条
- (1) 総会の開催。
 - (2) 会員名簿および会報の発行。
 - (3) 科学・技術とその情報の交換。
 - (4) その他必要と認める事項。

(事務局)

第4条 本会は事務局を大阪府立大学工学部機械工学科内に置く。また理事会の承認を得て支部を置くことができる。

第二章 会 員

(会員の種類)

第5条 本会は下記の会員をもって組織する。

- (1) 母体校会員
 - 官立大阪高等工業学校および官立大阪工業専門学校 機械科、精密機械科、原動機械科、船用機関科 卒業者。
 - 旧大阪府立淀川工業専門学校 機械科 卒業者。
 - 旧大阪府立機械工業専門学校 機械科、原動機械科、精密機械科 卒業者。
- (2) 浪大会員
 - 浪速大学工学部 機械工学科 卒業者および大学院修了者。
- (3) 府大会員
 - 大阪府立大学工学部 機械工学科 卒業者および大学院修了者。
- (4) 教職員会員
 - 上記卒業者および修了者が所属する学科の現教職員および旧教職員。

第三章 役 員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長(1名)、副会長(若干名)、専務理事(2名)、庶務理事(若干名)、会計理事(若干名)、常務理事(若干名)、監事(若干名)。
- (2) 理事 原則として各科、各期1名 大学院修了者若干名。
- (3) 上記の外に学内理事(若干名)を置くことができる。

(役員の出選)

第7条 役員は以下の方法により選出する。

- (1) 理事は各科各期の推薦による。
- (2) 学内理事は大阪府立大学在職会員から上記理事の推薦による。
- (3) 会長、副会長、専務理事、庶務理事、会計理事、常務理事は理事の互選による。
- (4) 監事は理事会で推薦し、総会の承認を得なければならない。

(役員の仕事)

第8条 役員の仕事は次の通りとする。

- (1) 会長は会務を統理し、この会を代表する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時は会長の職務を代行する。
- (3) 専務理事は会務処理を掌る。
- (4) 庶務理事は専務理事を補佐し、名簿の整理、会報の発行等の諸事務処理を掌る。

- (5) 会計理事は会計事務を掌る。
- (6) 常務理事は会務を処理する。
- (7) 理事は会務の企画立案をする。
- (8) 監事は会計事務の監査を行い理事会および総会に報告する。

(役員任期)

第9条 本会の役員任期は2年とする。ただし改選期外の就任理事は次期改選期までとする。

第四章 特別会員

(特別会員)

第10条 本会に特別会員として名誉会長・相談役・顧問を置く。

(特別会員の推薦)

第11条 特別会員は以下の方法により選出する。

- (1) 名誉会長には会長経験者、相談役には副会長経験者および専務理事経験者を推され、理事会の議を経て総会に報告する。
- (2) 顧問は会員中より推され、理事会の議を経て総会に報告する。

第五章 集 会

(定時総会)

第12条 定時総会は2年に1回行う。

(臨時総会)

第13条 臨時総会は理事会の決議により、または全会員の5分の1以上の請求があったとき会長が招集する。

(総会の決議)

第14条 総会の決議は出席者の過半数により成立する。

(理事会)

第15条 理事会は会務の遂行上必要と認めるとき、会長が随時招集する。

(理事会の決議)

第16条 理事会は理事全員の4分の1以上により成立し、決議は出席者の過半数により成立する。

第六章 会 計

(経費)

第17条 本会の経費は、年会費、終身会費、寄付金およびその他の収入をもってあてる。

(会費)

第18条 会費の種類は年会費と終身会費とし、それぞれの額は必要に応じて理事会の議を経て別に定める。既納の会費は還付しない。

(会計年度)

第19条 本会の会計年度を4月1日より翌年3月末日までとし、毎年度毎に会計監査を受け、会計報告および監査報告を次年度中に、何らかの方法で全会員に公表しなければならない。

第七章 付 則

(会則の改正)

第20条 この会則は総会において出席人員の3分の2以上の同意を得て改正することができる。

(会則の発効)

第21条 この会則は、平成4年5月30日をもって効力を生じる。

細 則

(会費)

- (1) 会費は下記に定める金額とする(昭和57年7月17日理事会)

年会費	2,000円
終身会費	30,000円
- (2) 会費は教職員会員からは徴収しない。

海外派遣報告

私は2019年12月17日から12月20日にかけて台湾台北市で開催されたThe 7th Asian-Pacific Congress on Computational Mechanics (APCOM2019)に参加しました。ここに今回の海外渡航で経験したことをご報告いたします。

○発表準備

はじめに今回の国際学会における発表は私にとって二度目ではあったのですが、やはり英語での発表ということもあり、指導教員との発表内容の確認等の普段の準備に加えて、発表原稿の文法や英単語の発音の再確認等、より万全な準備を心掛けました。発表練習の際には音声を録音し、アクセントは正しいのか、抑揚はとれているのかをはじめ、分かりやすい発表になるように意識しました。また、研究室での発表練習に加えて、工学支援室が実施している学生英語プレゼンテーション研修という制度を利用し、ネイティブスピーカーの方に発表をチェックしていただいたりもしたことで、よりよいものになったと感じていました。



学会会場

○学会

今回参加した国際学会は数値計算に関する幅広い分野におけるものでしたので、多岐の分野にわたる講演を聴講することができました。英語で

の発表のため全てを理解することは叶いませんでしたが、伝えたいところをしっかりと強調して下さる発表者が多く、講演内容の流れを意識して聞くことができました。同時に、聴衆を考えた発表にすることが大事だと改めて感じました。また、学会全体を通して質疑応答で活発に質問や討論をしている研究者が多くいたため、研究に対する意欲の高さを感じ取ることができたことは貴重な体験だと思います。

私の専門ではない分野の聴講した講演の中では、リチウムイオン電池を充電する際にも生じるデンドライト状の結晶成長に関するものが興味深い内容でした。また、総会講演においては土壤(多孔体)内が完全には水分で飽和していない際に生じるヒステリシス反応を考慮した土壤の動的解析という最先端の研究を知ることができ、多角的な研究の奥深さを体験することができたと感じます。一方で、私が参加した熱・流体に関するセッションでは、乱流の分野で著名な大阪大学の梶島先生の基調講演をはじめとして大変興味深い講演を聴講することができました。さらには近年よく耳にする深層学習を用いた乱流予測に関する研究の講演もあり、学問の新たな進展を垣間見ることができたのではないかと感じています。



中正紀念堂・蒋介石石像

私の発表に関しては、"Rayleigh-Bénard Convection of Paramagnetic Liquid under a Magnetic Field from Block Magnets"というタイトルの講演で、最終日の午後のセッションにありました。以前の学会発表の反省を踏まえた万全な準備をしたつもりではありましたが、発表前にはプロジェクターとの接続端子に不具合が生じるというトラブルもあり動揺してしまいました。しかし、たくさんの発表練習をしてきたことを思い出し、自然と落ち着くことができたように感じます。そのため発表時には大きなミスはなく無事に終えたと感じていますが、その一方で質疑応答の際には質問者の意図を理解できてはいたものの、簡潔かつ明確に答えることができなかつたと感じています。それは、もちろん英語力によるものもあるのですが、専門的な英単語を咄嗟に思い出すことができなかつたからのようにも思います。また発表する機会があるとすれば、万全な発表練習に加えて質疑応答にも力を入れ、聴衆に対して分かりやすい発表を行いたいと思います。

○学会外

学会の空き時間には異文化体験と観光を兼ねて台北を散策しました。蒋介石像で知られる中正紀念堂や龍山寺、台北101を回ったのですが、スケール感に圧倒されるばかりで、急激に発展している地域らしいエネルギーに溢れた一面に触れることができたと感じています。また、英語が母国語ではない者同士、なかなか意思疎通が図りづらい場面もありましたが、丁寧に話を聞くことで理解ができたりと、コミュニケーションを取る姿勢が大切だと学ぶことができました。



台北 101

○最後に

今回の海外渡航では国内外を問わず多くの研究者の講演を通して、新たな研究のニーズや動向を知ることができたと感じています。さらには研究に対する意欲やその姿勢等、見習わなければならないことが多々あったようにも感じます。これからの研究をよりよくするために少しでも意識を変えられるようにしたいと思います。また、どのように聴衆に対して分かりやすく伝えるか、発表のスキルについて改めてその重要性を感じました。英語での発表は決して簡単ではありませんが、そういった細やかな配慮を身に着けることができるように努力していきたいと思います。

今回、このような貴重な機会を与えてくださった須賀教授、金田准教授、桑田助教ならびに機械工学科同窓会の皆様には厚く御礼申し上げます。

上田仁名誉会長への追悼抄

伊東 弘一(工機13期、本学名誉教授)

昨年9月、工機5期の上田仁名誉会長がご逝去(享年86才)された。筆者が専務理事時代、住金(現新日鉄住金)で専務を務めておられた上田氏を平沙多賀男元学長に教えて頂いた。早速会長就任をお願いしたところ、ご快諾頂いた。氏は当時住金の稼ぎ頭の鋼板部門を担当されておられ、超多忙にも拘わらず理事会等に東京からご出席下され適切なご指導を頂いた。また、全学同窓会会長としてもご活躍頂いた。その後、関連会社の住金加工およびエアウオーターの社長も歴任されている。言う迄もなく本学に対する母校愛も非常に強く、大学における同窓会の重要性をよく理解されておられた方である。ある夜、機械同窓会の大学理事全員をホテルのレストランにご招待頂き、色々意見交換されると共に、慰労して下さったお心遣いの思い出が残っている。また、後任の機械同窓会会長として、住金の工機7期橘覚雄名誉会長をご紹介頂いた。

さて、府大と市大の合併時期が近づいている。我が国における大学の歴史の中で、このような大規模合併は稀有な出来事であり、現役の先生方は日々忙しくご苦労されている。機械工学に関し

ては、市大が中百舌鳥キャンパスへ移転して大規模な組織になる予定と伝え聞か、やがて同窓会組織の改組・運営に関しても多くの課題を解決していく必要がある。府大・市大の各同窓会と、新大学の同窓会をどのように連携させながら運営していくかは、多くの検討課題を抱えた難問である。また、校友会に関しても同様である。

ここで、一休禅師の遺言状について言及したい。禅師はどうにも解決できない難問が出る迄決して開けるなど言い残したが、寺の後輩達が困窮した時、開封すれば「心配するな。何とかなる。」と書かれていたそうである。多分、後世の人の創作話だと思われるが、皆で良く話し合い、協力して知恵を出すことの重要性を論じた一つの説法である。

上田名誉会長は、きっと「皆で助け合って立派な大学と同窓会に発展させて下さい。」と天国からエールを送っておられるに違いない。これまでの会長のご尽力に深く感謝の意を表すと共に、ご冥福をお祈り致します。合掌。



大阪府立大学からのお知らせ

●2020ホームカミングデーウェルカムパーティーのご案内

より多くの機械工学科同窓会会員の皆さま方のご参加をお願い致します。

・日時:2020年11月3日(祝)12時30分~14時30分

・場所:中百舌鳥キャンパス 生協食堂内特設会場

詳細については決まり次第、校友会サイト、ツイッター、校友会メールマガジンでお知らせします。

●全学電子名簿システムOPU-Net翔(しょう)への登録のお願い

校友会メールマガジンによるお知らせのため、是非ともOPU-Net翔へのメールアドレスのご登録をお願いします。

OPU-Net翔は校友会サイトの **OPU-Net 翔** をクリックするとご覧いただけます。

大阪府立大学オンラインコミュニティ

登録方法の詳細については、同封のチラシをご覧ください。

ご不明な点は校友会事務局までご連絡ください。

・電話:072-254-8143 ・メール:office@opucr.osakafu-u.ac.jp

・サイト:<https://www.opucr.osakafu-u.ac.jp/> ・ツイッター:<https://twitter.com/OPUalumni>

校友会サイト



校友会Twitter



◇ 2019年物故者リスト ◇

※カッコ内は旧姓・旧名

大機S16	山下 三郎(青木)	2016-02-00	機機S23	曲淵 昭三	2018-10-31
大機S17	宮城 保	2019-02-00	機機S23	瀬尾 喬	2017-05-26
大機S18	森近 竹一郎	0000-00-00	機機S26	丸野 雄市	2016-00-00
大機S20	神尾 秀一	0000-00-00	機原S22	井上 淳三	0000-00-00
大機S22	圓山 謙次	2018-04-29	機原S26	高河原 和則	0000-00-00
大機S23	池内 辰暢(辰宏)	2018-10-15	工機S28	今井 敏昭	0000-00-00
機2S23	平林 昭三	2013-01-03	工機S28	長田 良平	0000-00-00
大精S18	大石 信孝	0000-00-00	工機S30	山岡 秀太郎	2018-05-00
大精S22	藤原 由朗	2018-00-00	工機S31	加藤 一郎	2018-07-16
大精S23	澁井 弘	2019-01-00	工機S32	青木 宏	2017-06-30
大原S17	木村 龍平	2018-10-11	工機S32	上田 仁	2019-09-21
大原S17	富永 誠	2019-07-00	工機S36	石井 俊彦	2018-05-20
大原S20	新堂 順三	0000-00-00	工機S36	松本 長三郎	2011-08-00
大原S20	高橋 信夫	2017-00-00	工機S37	小川 善朗	0000-00-00
大原S20	森本 敬児	2018-06-00	工機S40	竹下 之夫	0000-00-00
大原S26	太田 謙一	0000-00-00	工機S41	谷川 義信	2018-08-19
大舶S23	外山 精一	0000-00-00	工機S42	市田 彰	2019-01-03
大舶S25	小林 和夫	2016-12-18	工機S50	柴田 克	0000-00-00
淀機S23	井上 安長	0000-00-00	工機S54	戸川 貢	0000-00-00
淀機S24	奥山 隆	0000-00-00			

大阪府立大学校友会との名簿情報の交換について

専務理事 菊田

2019年度の理事会決議により、機械工学科同窓会と全学同窓会組織である大阪府立大学校友会との間で会員名簿の情報交換を行うことになりました。

両会とも、会員各人の連絡先変更はそれぞれのWebページから簡単に行えます。しかし、会員の皆様におかれましては校友会と機械工学科同窓会を区別しにくく、校友会へ連絡先変更を申し出ても、機械工学科同窓会にはその情報が反映されず、混乱が生じていました。この混乱を解消するために、両会の間で定期的に会員名簿の情報交換を行い、互いに最新の連絡先情報を確保することになりました。これにより、機械工学科同窓会または校友会のどちらか一方で連絡先変更

を行えば、両方の会でも変更が反映されるようになります。また、校友会との連携を密にすることで、ホームカミングデーや東京同窓会をはじめとする各地方同窓会の開催案内を皆様に提供できるようになります。

なお、両会では外部に会員情報を提供したり、名簿を印刷発行したりすることは会則で禁止されています。皆様の個人情報外部に漏れないよう、今後とも十分な配慮に努めてまいります。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。





発行所

大阪府立大学工学部 機械工学科同窓会

印刷所

(有)プリンティングサービス

■ 機械工学科同窓会事務局からの依頼事項

会員の異動等に関する同窓会事務局への連絡については、下記までお問合せください。

大阪府立大学 工学部 機械工学科同窓会運営サポート E-mail : osaka-eng@web-dousoukai.com

有限会社プリンティングサービス

〒538-0043 大阪市鶴見区今津南 2-7-6 TEL.06-6969-8111 FAX.06-6969-8112 <http://www.printing-s.jp/>

営業時間 / 9 : 00 ~ 17 : 45 (月~土)